kikusui
F☆☆☆☆

2液水系ふっ素樹脂クリヤー

水系スーパーUVコートクリヤーF

2液水系アクリルシリコン樹脂クリヤー

水系スーパーUVコートクリヤーSi

多様な下地に密着する、今までに無かった水系クリヤー。
サイディングの高意匠性を残したい塗替えに最適です。

SUPER UV COAT CLEAR

Kikusui Chemical Industries Co.,Ltd
Nihon Seimei Hirokoji Bldg,19-25 Nishiki
2-chome,Naka-ku,Nagoya-shi 460-0003,Japan

2液水系ふっ素樹脂クリヤー

水系スーパーUVコートクリヤーF

2液水系アクリルシリコン樹脂クリヤー

水系スーパーUVコートクリヤーSi

高密着　高耐候　水系　低汚染　遮熱　防藻・防カビ

艶は選べる2種類　艶有　艶消し

紫外線＋赤外線をWカット!!
キクスイ独自開発の最強クリヤー。

水系スーパーＵＶコートクリヤーは、塗膜やサイディングの劣化要因となる、紫外線・赤外線を反射する最強クリヤーです。特殊モノマーを有する高耐候の樹脂と、ＨＡＬＳ（光安定剤）を配合。低汚染、防藻・防カビ機能をプラスし、長期にわたり外壁の美観を保つことができます。艶有以外に、シックな風合いを演出する艶消し仕上げもご用意しています。

クリヤーの必要性

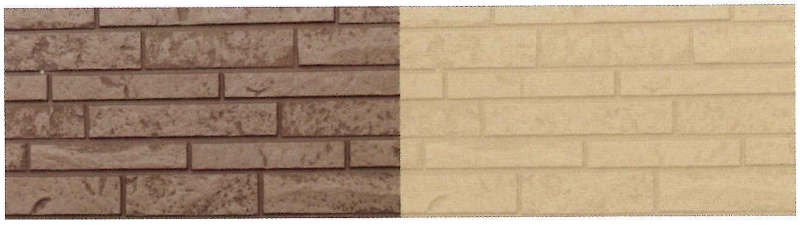
改修でのクリヤー塗装仕上げ

紫外線劣化で色あせ始めている。

劣化下地　**クリヤー塗装**

新築の時のような色合い
素材の質感や柄を活かしたまま
美観や性能を保持します。

劣化下地　**塗替え塗装**



単色で塗替えをすると、素材の
イメージが失われてしまうので
印象が変わってしまいます。

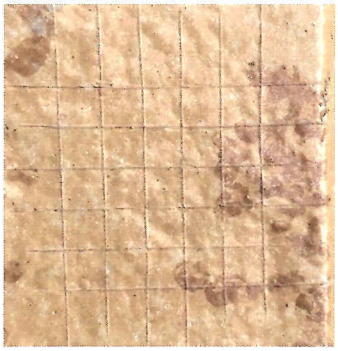
※イメージ画像

特長１．高密着

水系なのに、幅広い多様な下地に密着します！！
光触媒・無機塗料にもOK！

２液硬化タイプであり、各種サイディング等への密着性に優れています。既設のサイディングの塗替えや、難密着であるふっ素塗膜、光触媒塗膜の塗替え用途にご使用いただけます。また、下塗りが不要であるため、コストの削減にもなります。

下地に何が塗ってあるかを悩む必要がありません！！



光触媒下地での碁盤目試験

異常なし

適用可能下地　下記以外の特殊な下地は最寄りの営業所までご相談ください。

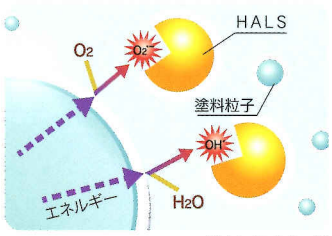
- 窯業系サイディング（光触媒・無機塗料・フッ素・アクリルシリコン）
- 金属サイディング（フッ素・焼付フッ素・防汚性塗料・アクリルシリコン）
- 磁器質タイル※1
- 高弾性以外の各種塗装仕上げ

※１．磁器質タイル下地には、目地の吸水調整材として「シランコートＴ」をご使用ください。

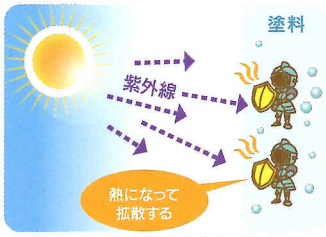
特長２．高耐候性

紫外線をカット！！

ＨＡＬＳ（塗膜の劣化要因となるラジカルを無害化させる光安定剤）や紫外線（ＵＶ）吸収剤を配合しており、長期に亘り変退色や塗膜劣化を抑えます。



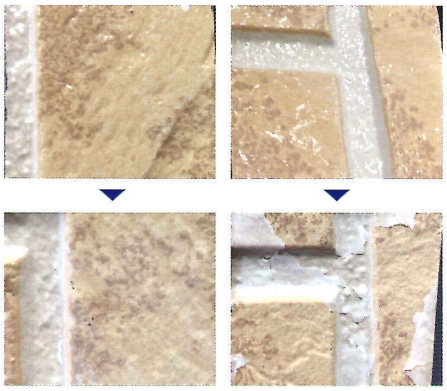
ＨＡＬＳイメージ



紫外線（UV）吸収剤イメージ

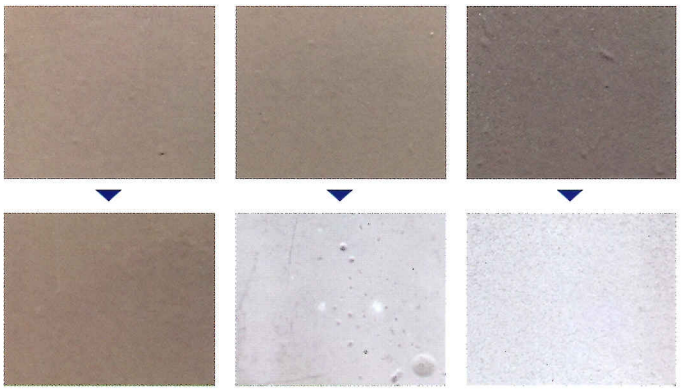
●ＳＵＶ※促進試験後の塗膜確認　※SUV「スーパーＵＶテスター（超促進耐候性試験機）」

【サイディング下地（1300ｈ後）】



水系スーパー UVコートクリヤーＳｉ	同等品 水性シリコンクリヤー
異常なし	クリヤーが劣化（白化・剥離）

【旧塗膜下地（1300ｈ後）】



水系スーパー UVコートクリヤーＳｉ	同等品（Ａ社） 水性シリコンクリヤー	同等品（Ｂ社） 水性シリコンクリヤー
異常なし	クリヤーが劣化（白化・720ｈ後）	クリヤーが劣化（白化・720ｈ後）

促進耐候性試験　600 時間照射後、塗膜に、割れ、剥がれ及び膨れがなく、試験品と見本品の変色の程度を目視にて比較したもの。見本品の色変化と試料の色変化が大差なく、さらに白化の等級が１または０である試験をクリアしています。

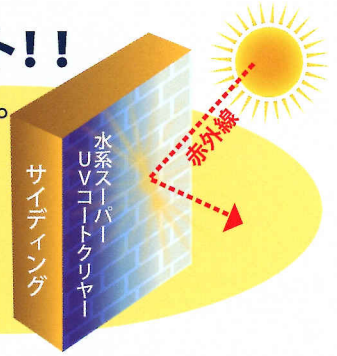
＋α 遮熱機能

赤外線をカット！！
キクスイ独自開発。

特殊な反射性能をもつ遮熱顔料を用い、クリヤーの高い透明性を維持したまま遮熱効果を付与しました。赤外線を吸収し、サイディングに伝わる太陽光の熱を反射します。

※下地の色調によっては遮熱効果に差が生じます。

太陽光に含まれる赤外線は波長が長く、波長の短い紫外線と異なり、長時間かけて下地や塗膜を劣化させます。**「赤外線カットを実現したクリヤー」**はキクスイだけの技術によるものです。



製品一覧

製品名	一般名称	色	艶	ホルムアルデヒド放散等級
水系スーパーＵＶコートクリヤーＦ	２液水系ふっ素樹脂クリヤー	透明	艶有・艶消し	Ｆ☆☆☆☆
水系スーパーＵＶコートクリヤーＳｉ	２液水系アクリルシリコン樹脂クリヤー	透明	艶有・艶消し	Ｆ☆☆☆☆

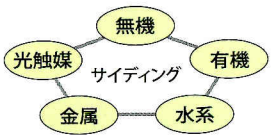
標準施工仕様書

工程		材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間（23℃）	所要量
素地調整		ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物はワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
上塗り	ふっ素	水系スーパーＵＶコートクリヤーＦ（艶有 / 艶消し）　主材：12.5kg　硬化剤：1.0kg　清水：0 ～ 0.4L	ウールローラー（中毛）エアレススプレー　等	2	工程内５以上	45~67 ㎡ /13.5kgｾｯﾄ 0.20~0.30kg/ ㎡
	シリコン	水系スーパーＵＶコートクリヤーＳｉ（艶有 / 艶消し）　主材：12.5kg　硬化剤：1.0kg　清水：0 ～ 0.4L	ウールローラー（中毛）エアレススプレー　等	2	工程内５以上	45~67 ㎡ /13.5kgｾｯﾄ 0.20~0.30kg/ ㎡

注１．施工用具・条件は代表的なものです。
注２．間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
注３．所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。
推奨ローラー：桃虎

用途・適応下地

窯業系サイディング・金属サイディング
磁器質タイル・石材調塗材・エナメル塗膜　等



注1）シーリング面は、塗膜の汚染・剥離などの不具合を起こす場合があるため施工しないでください。

荷　姿

水系スーパーＵＶコートクリヤーＦ　主　材　NET：12.5kg/ 缶
硬化剤　NET：　1.0kg/ 缶

水系スーパーＵＶコートクリヤーＳｉ　主　材　NET：12.5kg/ 缶
硬化剤　NET：　1.0kg/ 缶

注意事項（水系クリヤー、石材調）

【施工上の注意事項】

≪下　地≫
○下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
○かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「ＫＳクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
○ALC やコンクリートなどで巣穴、段差がある場合は、セメント系下地調整塗材「ＢＲ＃１５」等で処理してください。
○水洗い後は晴天下で必ず１日以上乾燥させてください。下地の乾燥が不十分の場合、塗膜の白濁等、水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなります。
○内部での施工の場合、汚染物の除去は水を含ませた清潔な布で拭き取り後、乾いた布で乾拭きして乾燥させてください。汚れがひどい場合は水で中性洗剤を薄めて拭き取ってください。
○下地の劣化が著しい場合、施工は避けてください。
○経年したサイディングボード面への塗装は、表層内劣化部分から剥離する恐れがあります。試験施工を行って付着性の確認を行ってください。
○無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
○布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。
○プラスターボードへの塗装はパテかい部とそれ以外の面で吸込みの違いが生じ、色むらなど仕上がりに影響が出る恐れがあります。下塗りを塗装して均一な状態にしてください。
○ドアのゴムパッキンなど可塑剤を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
○合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
○蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることが有ります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
○大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

≪環　境≫
○塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
○外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
○絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
○直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を 防止してください。
○施工時は換気を十分に行ってください。

≪施　工≫
○施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
○施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
○乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
○塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
○材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠ぺい不足、仕上がりムラの原因になります。
○各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
○色、模様の決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
○被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
○既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
○傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
○クリヤー塗装後は、濡れ色になり既存色より濃くなる場合があります。特に、下地の劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきが発生します。試験施工を行い、仕上がりを確認してください。
○他の材料と混合して使用しないでください。
○水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
○使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
○溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
○下塗材に、エポキシ樹脂塗料は使用しないで下さい。変色、剥離の可能性があります。
○シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
○磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

≪材　料≫
○つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装でムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
○つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。
○希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
○防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
○施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
○施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などで塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中成分の流出が起こる場合があります。

≪保　管≫
○直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

［安全衛生上の注意事項］
● 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
● 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
● 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
● 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
● 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
● エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
● 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
● 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて医師のください。
● 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
● 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態で密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
● 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
● 子供の手の届かない所に保管してください。
● 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

※上記注意事項は、当社の水系クリヤー全製品を対象とした内容で記載しています。

菊水化学工業株式会社

本社／名古屋市中区錦2丁目19番25号　日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ　https://www.kikusui-chem.co.jp/

仙台支店 ☎ 022-706-5710
東京支店 ☎ 03-3981-2500
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200
関西支店 ☎ 06-7668-5320
福岡支店 ☎ 092-935-4610

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C010191

●このパンフレットは2021年5月の情報により作製しております。
●このパンフレットに掲載の製品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。
●諸官公庁等の特記仕様がある場合は、それを優先して下さい。

vol.3 21.5.Ch①